

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4191200064		
法人名	有限会社 九州メディカルサービス		
事業所名	グループホーム「安心」しらかべ		
所在地	佐賀県三養基郡みやき町大字白壁244番地1		
自己評価作成日	平成23年3月17日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigojohou-saga.jp/kaigosip/Top.do
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成23年3月31日	外部評価確定日	平成23年5月16日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>入居本位の介護を第一としており、その人がその人らしい生活ができるように援助を行っている。入居者のやる気を引き出すため、利用者が出来る事は行ってもらい、学習療法等も積極的に行っている。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>県道神埼～久留米線の沿線に位置し、みやき町の中心地で、近隣には銀行やコンビニエンスストアや大きなショッピング店等があり、生活感のある処である。2ユニットをつなぐ廊下の先にデッキと中庭があり、桜の花見をしたり、季節の花をプランタや鉢で育てたりして楽しんでいる。事業者が医療法人で、協力医療機関として24時間の受診と往診が可能であり、3グループの経営である事から、ホーム全体の職員の研修や医療体制は、格差が出ないよう共にレベルアップを図っている。職員は、常に入居者主体で、一人ひとりが自分らしく安心・安全な日々を過ごせるように支援をしている。</p>
--

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA()	自己評価／ユニットB()	外部評価	
			(事業所記入欄)	(事業所記入欄)	(評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	運営会社の理念を基に事業所独自の理念を掲げ、朝礼時の唱和を行い、理念の具現化に取り組んでいる。	運営会社の理念を基に事業所独自の理念を掲げ、朝礼時の唱和を行い、理念の具現化に取り組んでいる。	法人の理念を基につくり上げた事業所独自の理念「明るく、我が家のような、入居者本位の支援をし地域の人々が何時でも立ち寄れる家(ホーム)にしましょう」を朝礼時に唱和し、理念の具体化に取り組んでいる。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	ホームでの催し物は、地域の方に参加していただけるよう声掛けはし、参加していただいている。地域の行事は年1回行っている。	ホームでの催し物は、地域の方に参加していただけるよう声掛けはし、参加していただいている。地域の行事は年1回行っている。	ホームでの催し物(夏祭り・敬老会・クリスマス会・ひな祭り等)に地域の方の参加があり、ボランティアの訪問も多い。又、地域での老人会と子供会でのしめ縄作りや相撲大会にも参加している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議を利用し、区長や地域の方に認知症について報告、説明を行っている。	運営推進会議を利用し、区長や地域の方に認知症について報告、説明を行っている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議にて施設のサービス報告を行い、いただいた意見を施設にて話し合いを行い、サービス向上に努めている。	会議にて施設のサービス報告を行い、いただいた意見を施設にて話し合いを行い、サービス向上に努めている。	会議では、事業所の事業計画や行事、入居者の状況報告をしている。意見等は職員に伝達してサービス向上に活用している。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	地域包括支援センターの担当者とは、折に触れ、情報交換を行い利用者の紹介等も受けている。	地域包括支援センターの担当者とは、折に触れ、情報交換を行い利用者の紹介等も受けている。	鳥栖広域介護保険組合や地域包括支援センターとは連携を密にして、入居者の事等の相談を行い、協力関係を構築している。今年度、介護保険事業連合会より研修支援対象事業所の指定を受けており、行政の指導も予定している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束禁止について理解している。夜間の利用者の安全確保以外の施錠は行っていない。	身体拘束禁止について理解している。夜間の利用者の安全確保以外の施錠は行っていない。	職員は身体拘束の弊害を理解しており、拘束の事例は無い。夜間以外の玄関の施錠もなく、リビングから見守りをしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修に参加し学ぶ機会を作り実施している。	研修に参加し学ぶ機会を作り実施している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者及びケアマネは理解しているが、職員も理解できるよう研修に参加し学ぶ機会を作っている。	管理者及びケアマネは理解しているが、職員も理解できるよう研修に参加し学ぶ機会を作っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居希望者には事前に十分な説明を行い、施設見学の後、納得された上で契約を行っている。	入居希望者には事前に十分な説明を行い、施設見学の後、納得された上で契約を行っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホームに要望BOXを設置している。また契約時に苦情等の外部窓口の連絡先等を説明している。	ホームに要望BOXを設置している。また契約時に苦情等の外部窓口の連絡先等を説明している。	ホームでの催し物(夏祭り・クリスマス会)の後で家族会を開催して意見や要望を聞いている。又、アンケートを取り、より意見を表し易くしている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	カンファレンスや個人面接時を定期的に行い、要望等を反映できるように取り組んでいる。	カンファレンスや個人面接時を定期的に行い、要望等を反映できるように取り組んでいる。	同一法人の3グループと医療関係者の合同研修会を月1回実施し、カンファレンス、研修会・事業所単位の会議をし、年2回個人面接をして、要望等を汲み取っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	働きやすい環境、働き甲斐のある環境を作るよう取り組んでいる。	働きやすい環境、働き甲斐のある環境を作るよう取り組んでいる。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人外の研修や法人内の勉強会等に参加し、より実践的に学べるよう取り組んでいる。	法人外の研修や法人内の勉強会等に参加し、より実践的に学べるよう取り組んでいる。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内のホーム間での職員の相互訪問、地域内で行われている地域ケア会議に出席できるよう取り組んでいる。	法人内のホーム間での職員の相互訪問、地域内で行われている地域ケア会議に出席できるよう取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人に担当者を決め、しっかりと話す機会を作り要望や不安なことに耳を傾け、よりよい支援をできるようにスタッフ全員で努めている。	本人に担当者を決め、しっかりと話す機会を作り要望や不安なことに耳を傾け、よりよい支援をできるようにスタッフ全員で努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の意見や要望をしっかりと聞き取り、家族の意見を反映できるようにしている。	家族の意見や要望をしっかりと聞き取り、家族の意見を反映できるようにしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人家族と話しを行い、ケアマネージャーを中心に支援を行うよう努めている。	本人家族と話しを行い、ケアマネージャーを中心に支援を行うよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	できる事は本人に行ってもらい、身体機能の維持・向上を目指している。	できる事は本人に行ってもらい、身体機能の維持・向上を目指している。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の意見を聞き、共に支援を考え利用者を支えていけるよう関係を築いている。	家族の意見を聞き、共に支援を考え利用者を支えていけるよう関係を築いている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者の友人に手紙を出したり、関係が途切れないように努めている。	利用者の友人に手紙を出したり、関係が途切れないように努めている。	近隣からの入居者が多いので、馴染みの人の面会も多く、入居者と一緒に歓迎交流している。入居者は、友人から温泉や外食等誘ってもらったり、手紙を出したりの交流がある。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ここの特徴、生活層を把握した上でお互いがコミュニケーションを取れるよう支援している。	ここの特徴、生活層を把握した上でお互いがコミュニケーションを取れるよう支援している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後も施設行事への参加の促しや継続的に連絡を行うように努めている。	退居後も施設行事への参加の促しや継続的に連絡を行うように努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	アセスメントを行い、ケアマネージャーを中心に全職員が情報を共有して支援している。	アセスメントを行い、ケアマネージャーを中心に全職員が情報を共有して支援している。	日々のケアを全職員が情報を共有するようになっている。又、個人毎の日記帳があり、その中から意向を汲み取ったり、困難な場合は本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメントや日常会話の中から生活歴の把握に努め、ケアプランに反映できるように努めている。	アセスメントや日常会話の中から生活歴の把握に努め、ケアプランに反映できるように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	1日の介護を通し、職員間で現状把握と自立に向けたサービスの提供に努めている。	1日の介護を通し、職員間で現状把握と自立に向けたサービスの提供に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアプランは本人の意志・家族の意見を聞きながら作成している。またスケジュール記録のインデックスにケアプランを提示し、全職員が把握できるようにしている。	ケアプランは本人の意志・家族の意見を聞きながら作成している。またスケジュール記録のインデックスにケアプランを提示し、全職員が把握できるようにしている。	ケアプランは、本人や家族の意向や要望を確認し、関係者と話し合い、本人本位の介護計画を作成している。なお、定期的に評価を行い見直しするほか、毎月モニタリングをしている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護スケジュール、業務日誌等に毎日記録を行い、休日であった職員が出動しても状態が分かるように努めている。	介護スケジュール、業務日誌等に毎日記録を行い、休日であった職員が出動しても状態が分かるように努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	関係医療機関と連携し、可能であれば実施するように努めている。	関係医療機関と連携し、可能であれば実施するように努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA()	自己評価／ユニットB()	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近所のお店等に職員と一緒にできるだけ出かけるように努めている。	近所のお店等に職員と一緒にできるだけ出かけるように努めている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	在宅総合診療を利用し、適切な医療の提供を受けられるように支援している。	在宅総合診療を利用し、適切な医療の提供を受けられるように支援している。	協力医療機関の在宅総合診療の月2回の往診を利用している。家族の希望でかかりつけ医へ診療に行くこともできるよう支援している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	利用者の状態を観察し、少しでも状態に変化があれば看護師に報告するようにしている。	利用者の状態を観察し、少しでも状態に変化があれば看護師に報告するようにしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	主治医や看護師長と積極的に話し合いを行い、早期退院ができるように努めている。	主治医や看護師長と積極的に話し合いを行い、早期退院ができるように努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族、医師と密に話し合いを行い、本人、家族が希望する方針を決め、それを家族、医師、職員全員で共有できるよう努めている。	家族、医師と密に話し合いを行い、本人、家族が希望する方針を決め、それを家族、医師、職員全員で共有できるよう努めている。	入居契約時に重症化や終末期について本人や家族の承諾を得ており、また、随時協議をして意思確認をしている。現在までに2人のターミナルケアを実践している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時マニュアルを作成し、勉強会も定期的に行っている。	緊急時マニュアルを作成し、勉強会も定期的に行っている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の消防訓練を実施しており、近隣にも応援していただけるよう呼びかけている。	年2回の消防訓練を実施しており、近隣にも応援していただけるよう呼びかけている。	毎年2回消防署の立会いの下に消火訓練や夜間想定避難訓練を実施している。隣家の協力や地元区長さんとの協力も得ており、避難場所の確保も出来ている。入居者は常時ナースコールの携帯をしている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉がけや対応をしている	利用者一人ひとりに合わせた声掛け、対応を行い、居室に入室する際はノック声掛けをするなどプライバシーを守るよう努めている。	利用者一人ひとりに合わせた声掛け、対応を行い、居室に入室する際はノック声掛けをするなどプライバシーを守るよう努めている。	職員は入居者のプライドやプライバシーに配慮したケアに取り組んでいる。居室に入る時も声掛けをし、トイレ誘導や入浴時にも尊厳を損ねないようにしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	個々の思い、希望を日々の会話の中で聞き取り、その方にあったサービスを提供できるように努めている	個々の思い、希望を日々の会話の中で聞き取り、その方にあったサービスを提供できるように努めている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者中心、自分らしく1人ひとりに合った時間の過ごし方をサポートしている。	利用者中心、自分らしく1人ひとりに合った時間の過ごし方をサポートしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	月1回訪問美容室に来てもらっている。また希望者には行きつけの美容室にスタッフと行けるよう支援している。	月1回訪問美容室に来てもらっている。また希望者には行きつけの美容室にスタッフと行けるよう支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	宅配食のため予め献立は決まっているが、利用者の希望があったときは取り入れるようにしている。職員も同じように食事をしている。	宅配食のため予め献立は決まっているが、利用者の希望があったときは取り入れるようにしている。職員も同じように食事をしている。	食材と献立については納入業者により決められているが、入居者の希望にも副うようにしている。隣接のコンビニに副々食の買い物には一緒にでかける。同一食事は検食2名と決められており、全職員が同じ食事を摂っていない。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの1日トータルの水分量、食事量を記録し、健康管理を行っている。	一人ひとりの1日トータルの水分量、食事量を記録し、健康管理を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後必ず口腔ケアを行い、必要があれば時間をかけ清潔が保てるよう支援している。	食後必ず口腔ケアを行い、必要があれば時間をかけ清潔が保てるよう支援している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェックシートを用い、排泄のパターンを把握し、利用者に合った排泄を心掛けている。	排泄チェックシートを用い、排泄のパターンを把握し、利用者に合った排泄を心掛けている。	排泄のパターンを把握し、トイレでの排泄を基本として支援している。紙パンツ使用者が多いが、布パンツに変更出来た方もいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	栄養バランス、栄養価に配慮している。また牛乳やヨーグルトなど乳製品の提供や食物繊維が豊富な食事の提供を心掛けている。	栄養バランス、栄養価に配慮している。また牛乳やヨーグルトなど乳製品の提供や食物繊維が豊富な食事の提供を心掛けている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	原則的に週3回の入浴日を設けている。希望があれば毎日でも入浴可能としており、体調、プライバシーにも配慮しながら時間をずらしたり、柔軟に対応している。	原則的に週3回の入浴日を設けている。希望があれば毎日でも入浴可能としており、体調、プライバシーにも配慮しながら時間をずらしたり、柔軟に対応している。	基本的には週3回の入浴としているが、希望者は、毎日の入浴も可能である。入浴時間等、柔軟に対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者一人ひとりの生活歴や状況に応じて、安心できる環境・空間作りに努めている。	利用者一人ひとりの生活歴や状況に応じて、安心できる環境・空間作りに努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬は看護師が管理しているが、職員も理解できるようにしている。服薬の変更等があった場合は記録に残し、職員が確認できるようにしている。	服薬は看護師が管理しているが、職員も理解できるようにしている。服薬の変更等があった場合は記録に残し、職員が確認できるようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日常生活の中の内容等を参考にして、調理・洗濯行為一連や掃除・おしゃべり・畑仕事などの好みや経験を活かした役割や楽しみを提供できるよう努めている。	日常生活の中の内容等を参考にして、調理・洗濯行為一連や掃除・おしゃべり・畑仕事などの好みや経験を活かした役割や楽しみを提供できるよう努めている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	希望者にはできるだけ行えるよう配慮している。また定期的に外出できる機会を作っている。	希望者にはできるだけ行えるよう配慮している。また定期的に外出できる機会を作っている。	気候がよい時には日常的に散歩をするようにしている。年間行事の中に季節の花見等を計画して外出したり、外食を楽しむ事もしている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人の能力に応じて管理可能な方に関しては近所のスーパーやコンビニ等で買い物できてる程度の金額は自己管理してもらっている。	本人の能力に応じて管理可能な方に関しては近所のスーパーやコンビニ等で買い物できてる程度の金額は自己管理してもらっている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人が希望された場合は支援を行っている。	本人が希望された場合は支援を行っている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に応じて飾りつけをしたり、手作りの小物等を飾って家庭的な環境作りに努めている。	季節に応じて飾りつけをしたり、手作りの小物等を飾って家庭的な環境作りに努めている。	台所とリビングが対面で、常時見守りが出来る。タタミの間があり、季節の飾り付けもしており、随所に季節を感じるようにしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	今にはソファを設置し、思い思いに過ごせるような居場所作りをしている。またテーブルや一人かけのソファもあり、一人ひとりの時間を過ごせるようにしている。	今にはソファを設置し、思い思いに過ごせるような居場所作りをしている。またテーブルや一人かけのソファもあり、一人ひとりの時間を過ごせるようにしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に家族と相談し、今まで使っていた家財道具を持ち込んでもらい、本人の慣れ親しんだ環境作りに努めている。	入居時に家族と相談し、今まで使っていた家財道具を持ち込んでもらい、本人の慣れ親しんだ環境作りに努めている。	ベッドはレンタルでも対応しているが、基本的には本人が使い慣れた家財道具を持ち込んでいる。部屋には、家族の写真や手紙、壁飾り等が飾ってあり、温かい雰囲気の居室となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	家族の同意の下ネームプレート各居室に設置し、場所が分かるようにしている。またテーブルや使用する物に名前を記載し、トイレ、浴室等もわかるように明記している。	家族の同意の下ネームプレート各居室に設置し、場所が分かるようにしている。またテーブルや使用する物に名前を記載し、トイレ、浴室等もわかるように明記している。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目)(事業所記入)				
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない